



関中学校だより

第2号 令和4年6月30日

ホームページアドレス <http://www.seki-j.nerima-ky.ed.jp/>

ひとりの時間 ～自分の個性や可能性について考える～

校長 大澤 秀吉

おはようございます。

先月の朝礼では、運動会の直前ということもあって、苦手な人もいるかもしれないが、自分ができることを考えて行動すること、行動しても行動しなくても、どちらも正解であることについて話しました。

しかし、行動した人は何らかの経験を得ることができること、そしてこの経験は行動した人だけしか得られないのでぜひ行動してほしいという内容を伝えました。

運動会後の作文を読むと、「悔しいことは悔しいが優勝や順位へのこだわりよりも、みんなと協力することの大切さや楽しさを学ぶことができた」という内容のものが多くみられました。

まさに、関中学校は「学びの場」であり「成長の場」であることを表しているように、みなさんの成長を実感し、とてもうれしく思いました。

さて、今日は、いろいろ行動したけれど、何となく集団になじめない、違和感が残ることについて話をします。

集団の中にいることの居心地の悪さ、周りとの折り合いのつけにくさ、本質的な寂しさや孤独感などにとらわれてしまうことがあります。居心地の悪さを感じたりすることは、人が社会の中で生活している以上誰にでも起こることです。小学生、中学生、高校生、大学生、社会人、どの年代でも起こります。

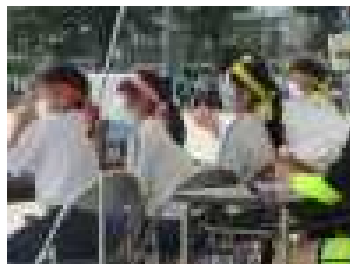
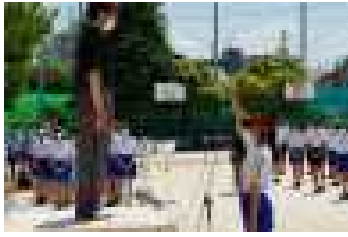
「自分が、暗いからダメなんだ」とか「グループで行動できないことはいけないことだ」などと考えて悩んでしまう人も多いのですが、実は自分と他の人との認識がはっきりしてきたことで、自分の個性や可能性について無意識に考え始めたときに起こることなのです。

しかし、違和感を覚えている人や集団になじめないと感じている人は、決して暗い人ではなく、いま成長している人であるということ、無意識に自分の可能性や個性について考え始めている人であることを忘れないでください。

ひとりの時間を大切にしてください。

【校長講話より】

5月28日(土) 第48回 運動会



6月6日(月)~6月8日(水) 第3学年 修学旅行「奈良・京都方面」

